

58年11月、60年3月完成をめぐしてはじめられた新庁舎建設工事

# 9,000村民の

## 経費節約で1億

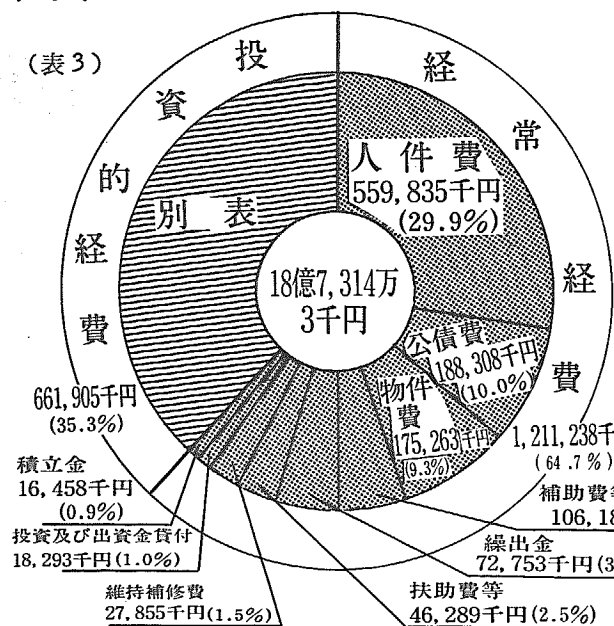
(表2)

歳出18億7,314万円

議会費	53,171千円 (2.8%)
諸支出金	27,432千円 (1.5%)
消防費	21,913千円 (1.2%)
商工費	16,872千円 (0.9%)
労働費	430千円 (0%)
その他	117,175千円 (6.4%)
衛生費	174,476千円 (9.3%)
教育費	184,266千円 (9.8%)
公債費	222,041千円 (11.9%)
民生費	276,649千円 (14.8%)
土木費	309,589千円 (16.5%)
農林水産業費	469,129千円 (25.0%)
総務費	1,211,238千円 (64.7%)
人件費	559,835千円 (29.9%)
公債費	188,308千円 (10.0%)
物件費	175,263千円 (9.3%)
補助費等	106,184千円 (5.7%)
繰出金	72,753千円 (3.9%)
扶助費等	46,289千円 (2.5%)
維持補修費	27,855千円 (1.5%)
投資及び出資金貸付	18,293千円 (1.0%)
積立金	16,458千円 (0.9%)
投資的経費	661,905千円 (35.3%)
常経費	1,211,238千円 (64.7%)
合計	18,731,400千円

### 性質別経費

(表3)



(別表)

### おもな投資的経費

- 役場庁舎建設、ガードレール設置 262,800千円
- 防犯灯新設、小杉保育園用地整備 5,153円
- 農道整備事業、かんばい事業、土地改良総合整備事業、農村総合整備モデル事業 226,762円
- 小阿賀橋架替事業、道路改良整備、水路改良工事、地盤沈下対策事業 161,592円
- 消防ポンプ格納庫建設工事、消防ポンプ購入、消火栓移設工事 1,798円
- 小、中学校各種工事、スクールバスバス停設置工事 3,440円
- その他 360円

### 昭和58年度に村がした借金(2億7,040万円)

総務債 1億4,710万円 庁舎建設

農業債 6,620万円 農村総合整備モデル事業、農業施設

土木債 5,710万円 道路・橋梁、生活環境衛生施設

- ・村民一人当りの納めた税金 五七、一二五円
- ・村民一人当りの使ったお金 二一〇、六三二円
- ・(前年度対比四・七%増)
- ・(前年度対比四・七%減)
- ・村民一人当りの借金残高 一七三、九七五円
- ・(前年度対比二・七%増)
- ・村の財産 一八、四三二㎡
- ・土地 一一八、四三二㎡
- ・建物 二二、五二一㎡
- ・出資金 四、四五二千円

# 家計簿 昭和58年度 一般会計決算

## 1,548万円の黒字

(表1)

歳入19億8,862万円

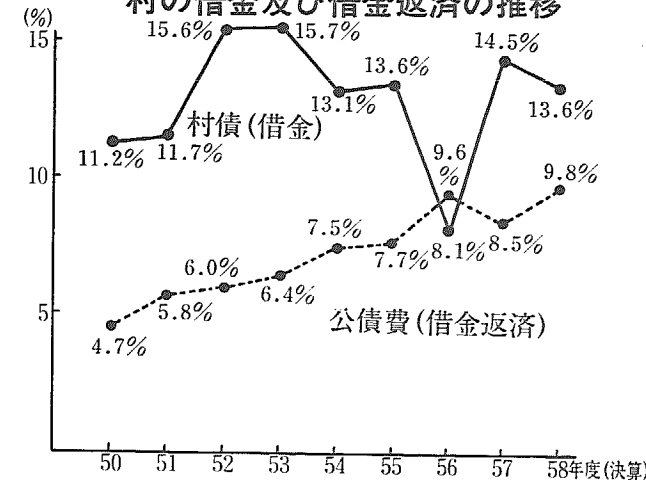
村税	508,008千円 (25.6%)
繰入金	95,650千円 (4.8%)
地方交付税	636,514千円 (32.0%)
村債	270,400千円 (13.6%)
県支出金	147,483千円 (7.4%)
国庫支出金	98,004千円 (4.9%)
その他	66,096千円 (3.3%)
自主財源	38.8%
依存財源	61.2%
合計	1,988,662千円



58年6月、オープンした農村環境改善センター

九、〇〇〇村民の家計簿ともいうべき、昭和五十八年度一般会計決算が十二月定例議会で認定されました。みなさんが納めた税金がいくらか、国や県からどのくらいのお金が入ったか。また、そのお金がどのように使われ、村行政が運営されてきたかを紹介します。

### 村の借金及び借金返済の推移



### 説明

## 大幅黒字決算だが 借金で苦しい村の台所

昭和五十八年度当初予算は、前年度対比五・七%増の一八億八、六〇〇万円、①役場庁舎建設の推進 ②農村総合整備モデル事業、下水道事業の推進 ③農村環境改善センター開館と住民福祉の推進 ④幹線道路網の整備、小阿賀橋架替の推進 ⑤老人保健法施行を契機とする健康福祉事業の推進などを重点施策としてスタートしました。

その後、九回の補正を行い決算額は、入ったお金(歳入)は、一九億八、八六二万円、出たお金(歳出)は一八億七、三二四万円、一億一、五四八万円の黒字となりました。

多額の黒字繰り越しとなった要因に、地方交付税の算定数値が本村の場合高まったこと、村民税が多く入ったこと、庁舎建設が着工され、経費節減に努力したことがあげられます。

それでは、村に入ったお金をみてみましょう(表1) 村民税など自分の村で確保できるお金(自主財源)は三八・八%、これに対して、地方交付税や村の事業に対する国・県の補助金等、それに借金(村債)など依存財源は六一・二%となっています。

この中で、借金が全体の二三・六%をしめ、借金をしなければ行政運営ができない今日の苦しい地方財政の実情があります。現在の借金残高は、一五億四、七一六万円にのぼり、村民一人当たり一七万四千円くらいの借金をしている勘定です。

出たお金の使いみちは、(表2)庁舎の建設がはじまった総務費が二五・〇%、農村環境改善センターの建設、集落排水路の整備等、農村総合整備モデル事業があった農林水産業費が一六・五%小阿賀橋架替工事、道路網の整備があった土木費が一四・八%と続いています。

また、これを性質別に見ますと、(表3)庁舎建設、道路改良など投資的経費は、全体の三五・三%で、前年度より二・八%少くなっています。

一方、職員等の人件費や物件費などの経費は六四・七%となっています。